

## 7月17日 パプアニューギニア、ニューギニア東部の地震

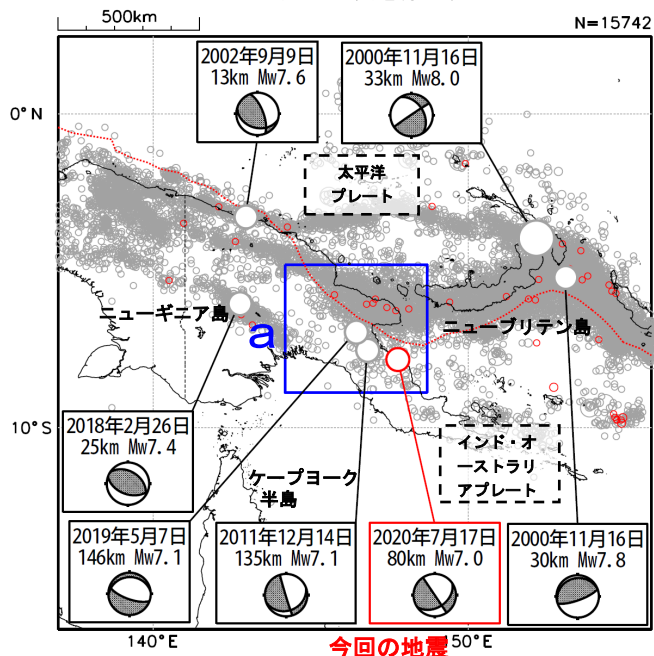
2020年7月17日11時50分（日本時間、以下同じ）にパプアニューギニア、ニューギニア東部の深さ80kmでMw7.0の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震に対して、同日12時17分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

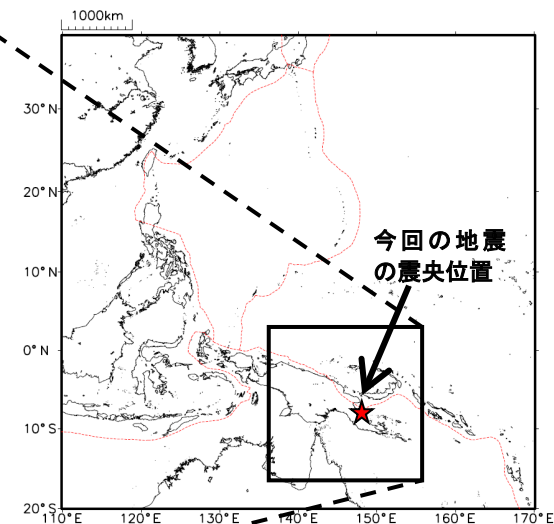
2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、M7.0以上の地震では、最近では2019年5月7日にMw7.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震が発生した地域ではM7.0以上の地震が頻繁に発生しており、1996年2月17日にはMw8.2の地震が発生し、父島で104cm、串本（和歌山県）で96cmなど、日本でも津波を観測した。

震央分布図  
(2000年1月1日~2020年7月31日、深さ0~150km、M $\geq$ 4.0)  
2020年7月の地震を赤く表示

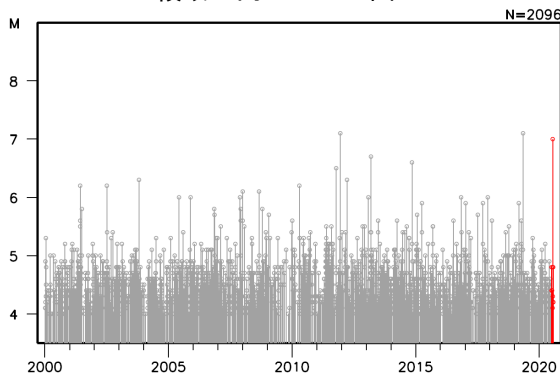


プレート境界の位置

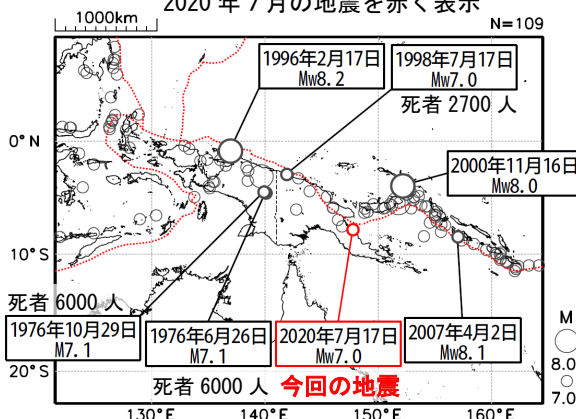


震央分布図  
(1970年1月1日~2020年7月31日、深さ0~150km、M $\geq$ 7.0)  
2020年7月の地震を赤く表示

領域a内のM-T図



今回の地震、M8.0以上の地震、及び死者1000人以上の地震に吹き出しを付けた。



※本資料中、2000年以降の震央分布図に吹き出しの注釈がある地震のうち、2009年4月以降の地震（今回の地震を含む）の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。吹き出しのないその他の地震については米国地質調査所 (USGS) による (2020年8月3日現在)。

また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2020年8月3日現在)。プレート境界の位置はBird (2003) より引用。過去の被害及び吹き出しのある過去の被害地震の内、1996年、1998年、2007年の地震のMwは、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.